

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	演劇	種目	演劇	
	応募区分	一般区分			
	複数応募の有無	無	応募総企画数		
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※				

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	ゆうげんがいしや げきだんあとむ			
	制作団体名	有限会社 劇団あとむ			
	代表者職・氏名	代表取締役 秋山京子	団体ウェブサイトURL https://www.atomw.co.jp/		
	制作団体所在地	〒 169-0051	最寄駅(バス停)	西早稲田駅	
		東京都新宿区西早稲田1-4-18-稻穂ビル202			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな				
	公演団体名				
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL	
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	1984年1月			
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等		
		代表取締役 秋山京子 取締役 楠 定憲 小嶋京子 大場寿子	◎構成員 劇団員 15名 ◎加入条件 研究生を経る		
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	秋山京子・楠 定憲	
経理処理等の監査担当の有無	無	経理担当者	高橋由布子		
本応募にかかる連絡先	メールアドレス atomw@pop12.odn.ne.jp	電話番号 0363802852			

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1984年1月、演出家関矢幸雄氏を創造リーダーに、クニ河内氏を音楽監督に迎え発足。</p> <p>『想像力の涵養こそ、生きる力に繋がる』という信念のもとに、ジャンルにとらわれず自由な発想を以て、舞台劇であり、音楽劇であり、人形も使うという、作品づくりをしています。</p> <p>作品は、「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」推薦・特別推薦です。代表取締役の秋山京子が「令和五年度 文化庁長官表彰」を受彰しました。</p>
	学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎『あとむの時間はアンデルセン』小学校405校 ◎デンマーク公演6都市17ステージ ◎『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』小学校578校 児童館220館 ◎『気のいいイワンと不思議な小馬』小学校301校 ◎『あとむのお話コンサート』小学校95校 ◎『走れメロス』小学校 47校 ◎素劇『あとむの童話の森にて』 55校
	特別支援学校等における公演実績	<p>養護学校・特別支援学校 『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』 40校 特別支援学校は各校、人数(50人～300人)・学年(小学生～高校生)差違があります。</p> <p>障害の違いは、全員車椅子・盲・聾の障害・知能障害・等々非常に多様です。 各学校の趣旨によって先生方とよく相談し、ワークショップも本公演も客席も工夫します。 先生の希望により、台本を送り、手話通訳の方を付けることも何度もありましたが、たいていの場合、本番中にまもなく通訳を止めておられました。 あとむの表現「音楽的に語り継ぐ手法・手話等を含めた動き」を観て、子ども達が理解し、楽しんでいると、先生方が認識して下さいます。 子どもたちは特に、みんな音楽が好きで、ハーモニーが好きです。 一切電気音(マイク・電子楽器)を使いません。生の音・音楽も大きな評価を得ています。</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://x.gd/C18ge	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	PW:

別添

なし

【公演団体名

有限会社 劇団あとむ

】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○										
	小学生(高学年)	○	中学生	○										
企画名	あとむの素劇ミュージカル													
企画のねらい	<p>☆ アンデルセンの、弱者に焦点をあわせた人生観、価値観が、童話を通し 楽しく優しく子どもの心に届きます。</p> <p><アニメイム> 棒とボールと輪を使い、複数の人数で、空中に、瞬時に動物や風景を描く手法。 息を合わせひとつの「もの」を創り、命を吹き込む、 関矢幸雄演出オリジナルの想像遊びを盛り込みました。</p> <p><アカペラコーラス> 3声～5声のハーモニーで、台詞、歌、擬音、すべて生の声で演じます。</p> <p><手話> 手話は、意味を伝える美しい動きとして、効果的であり、 魅力的な表現のひとつであることを伝えます。</p>													
本公演・ワークショップの内容	演目概要・演目選択理由	<p>☆ 構成・あらすじ 《 音楽劇 》 9人の妖精がお話を運ぶ</p> <p>① 劇『パンをふんだ女の子』 靴を汚さないよう、ぬかるみにパンを置いて渡ろうとした女の子イング専のお話。</p> <p>② 子どもたち参加『アニメイムで遊ぼう』 まず、出演者のアニメイムのユニークなパフォーマンス。 その次に子どもたちが参加し、遊びます。</p> <p>③ 劇『父さんのすることはみんなよし』 要らない馬を、何かいいものと取り換えようと、父さんは市場に出かけます。 色々なものに取り替えていき、ついには腐ったリンゴになっちゃった。 さあ、家で待つ母さんはどうするか。ほんとうの值打ちとは?</p>												
児童・生徒の参加または体験の形態	<p>【アニメイム】で遊ぶ</p> <p>共演は演目概要 ② の「遊び」の部分で、舞台に出て貰い、即興の呼吸を体験。 自由な発想のきっかけを呼び起します。 劇団員とともに、棒とわっかとボールで、動物や、物の形をつくってみます。 海の波動や、ものの連動など、大勢で伝えていき、息を合わせて動かします。</p>													
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人數目安	15名程度(各クラスから1名は参加できるように調整)										
			鑑賞人數目安	350名										
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』</p> <table> <tr> <td>原作</td><td>H. C. アンデルセン</td></tr> <tr> <td>脚本</td><td>秋山英昭・関矢幸雄</td></tr> <tr> <td>構成・演出</td><td>関矢幸雄</td></tr> <tr> <td>音楽</td><td>クニ河内</td></tr> <tr> <td>美術</td><td>有賀二郎</td></tr> </table>				原作	H. C. アンデルセン	脚本	秋山英昭・関矢幸雄	構成・演出	関矢幸雄	音楽	クニ河内	美術	有賀二郎
原作	H. C. アンデルセン													
脚本	秋山英昭・関矢幸雄													
構成・演出	関矢幸雄													
音楽	クニ河内													
美術	有賀二郎													
	公演時間	75	分											

出演者	楠 定憲、織田晴光、原田邦治、林 大介、野口 徹 三浦美穂子、京本幸子、高橋由布子、黒木幸枝、藤石夏菜																							
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	<p>演出家:関矢幸雄。創作舞踊家として高松宮賞や文部大臣賞、芸術選奨を受賞。独自の手法を用い、数多くの児童劇を創り上げ1991年紫綬褒章、1996年に勲四等旭日小綬章を受勲する。</p> <p>音楽:クニ河内。ザ・ハプニングス・フォーの活動と並行して、NHK教育番組や「みんなのうた」等の幼児番組に楽曲を提供する。</p> <p>制作:秋山京子。劇団創立メンバーとして、全ての作品の制作を担当。 長年の功績により「令和5年度 文化庁長官表彰」を受賞。</p>																							
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	<table> <tr> <td>出演者:</td> <td>10</td> <td>名</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">運搬</td> <td>積載量:</td> <td>2</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>スタッフ:</td> <td>0</td> <td>名</td> <td>車 長:</td> <td>5</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>合 計:</td> <td>10</td> <td>名</td> <td>台 数:</td> <td>1</td> <td>台</td> </tr> </table>					出演者:	10	名	運搬	積載量:	2	t	スタッフ:	0	名	車 長:	5	m	合 計:	10	名	台 数:	1	台
出演者:	10	名	運搬	積載量:	2	t																		
スタッフ:	0	名		車 長:	5	m																		
合 計:	10	名		台 数:	1	台																		
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込	無	前日仕込所要時間			時間程度																		
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出																		
	7:30	7:30～10:00	10:30～11:45	無し	12:30～14:00	14時00分																		
※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。																								
本公演 実施可能日数 目安	6月	7月	8月	9月																				
	7日	5日	0日	10日																				
	10月	11月	12月	1月																				
	15日	20日	7日	10日																				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	74日																				

本公演・ワークショップの内容

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

体育館の舞台と客席



体育館を劇場に！

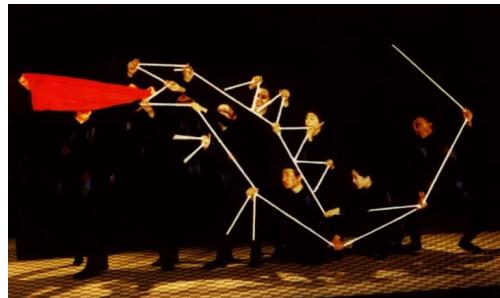


客席（観客数350名）
木製ベンチは持込みます。

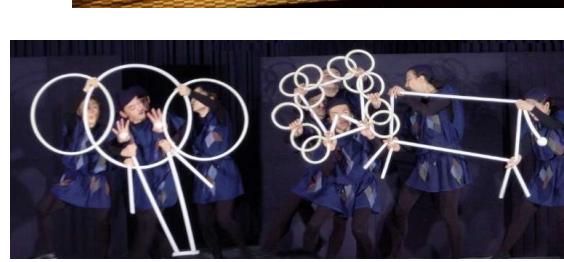
①『パンをふんだ女の子』



②『アニメイト遊ぼう！』



③『どうさんのすることはみんなよし！』



著作権、上演権等の許諾状況

各種上演権、使用権等の許諾手続の要否

該当なし

該当コンテンツ名

該当事項がある場合

権利者名

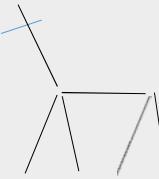
許諾確認状況

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 有限公司 創団あとむ】

ワークショップのねらい	<p>【ひとつのものを複数の人でつくる時、みんなで呼吸をはかり合うことが必要だ】ということを、伝えます。</p> <p>【想像する楽しさ⇒かたちにする面白さ】1つの線から繋がって三角や四角、星型になったりと、図形遊びを通して自由な発想力と柔軟な思考力を高めます。</p> <p>【複数でひとつのものを想像し、共鳴することの発見】を伝えます。 例えば、長方形を「ドア」に見立てた時。 ただの長方形をドアに見せるためにはどうしたら良いか? 呼吸をはかり合い同時に動いてみる、支点を決めて動いてみる、ドアを開ける人を作ろう… などなど一人では決してできない動きをアイデアを出し合い創造する事で、想像し感じ合う事を自然に学びます。 時には、スライドして動かし「自動ドア！」なんていう独自の発想が飛び出します。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	1回の人数は全員が物に触り、動くには理想は30人～50人。1限限ずつ、2回(50人×2回=100人)の実施が可能です。
ワークショップ	<p>《アニメイム》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 棒、ボール、輪をつかった造形を手遊びから、表現へ繋げます。 つくりかたの発想を児童、先生方に、提案・指導します。 ◎ 音楽 動きから自然に生まれるリズムや、曲想を楽しむ音楽にふれる機会にします。 ◎ 体験する児童だけでなく、体育・総合教育の時間にも相応しい内容です。 ◎ 全校生徒多数の場合は、学校の舞台に一部生徒を選出参加の形で可能です。 <p>☆90cmの棒 6本 + 45cmの棒1本で ⇒</p> <p>3人～4人で持て繋ぎ、動かし歩かせたり、乗ってみたりします。</p>  <p>「馬」になります。</p> <p>さあ、棒や輪っかで遊んでみよう！最初は四角や波など、初級編から始まります。</p>  		

の
内
容

ワークショップ
実施形態及び内容

アイデア様々。図形を組み合わせるだけではなく、本物のように動かします。
ロケットが本当に飛んでいるように見えるには...?
チームで相談・協力しながら創ります。



あと他のメンバーも入って、作品のお手伝い。
「正解」を教えるのではなく、子どもたちの発想や感性を生かします。
バスは車輪がいるなあ、窓も多くなくちゃ...「気付き」「発見」は何より大切!
自分で見つけた表現は、「物」に息を吹き込みます。



その他ワークショップに
関する特記事項等

ご準備いただくことは、参加児童各自が使う【棒】を新聞紙をくるくる巻いて、
2本(場合により1本でも構いません)、作成して戴きます。
先生方のご負担にならないよう、図や写真でご説明いたします。
ワークショップが終わった後も、各自で新しい思いつきで、
遊ぶ事ができます。
他は一切お手数をかけることはありません。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名】 有限会社 劇団あとむ】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。					
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。					
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただることになります。					
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。					

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
	会場の設置階の制限	条件なし	主幹引き込み電源容量	60 A以上			
	舞台設置面積	間口	12 m	奥行	10 m		
		高さ	6 m				
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可		
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	1.8 m		
	遮光の要否	5割程度必要	縦幕の要否	不要			
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否				
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	問わない	m以内		
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	1 台			
	搬入車両の大きさ	車幅	3 m	車長	5 m		
	備考	ピアノは、舞台と客席になる場所にある時のみ、移動をお願いする事があります。					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	不要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)				

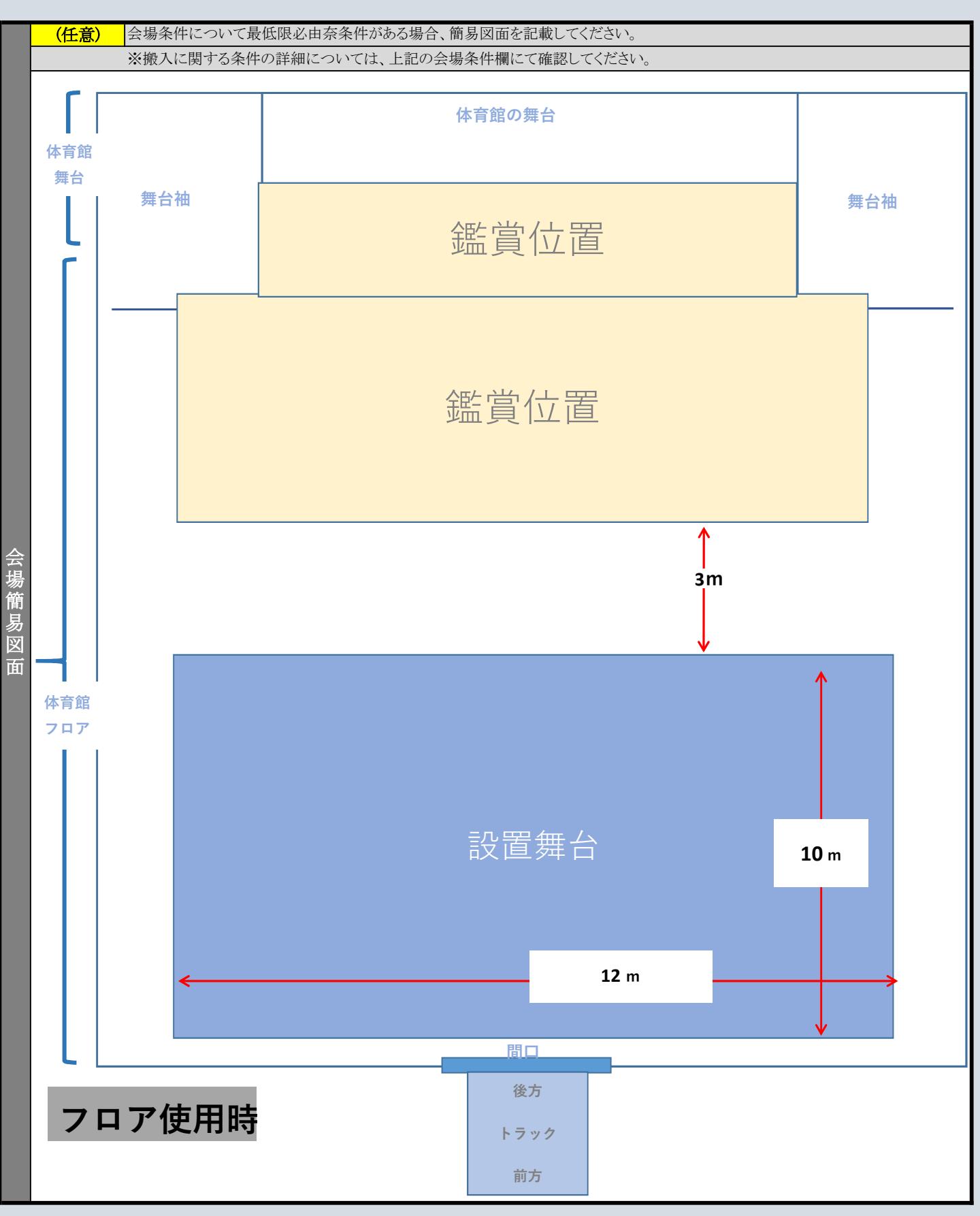
時間外対応	(任意) 万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合について、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。 ※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考	
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	20分程度	ワークショップの事前にご用意下さい。	新聞紙の棒の作成 (ワークショップで使用します)	作り方は簡単です。 作り方につきましては事前に資料を学校へ送付致します。
	ワークショップ					
	本公演					
本公演						

個別確認事項	(任意) 上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
	個別ヒアリング事項	
	1	
	2	
3		

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】

有限会社 劇団あとむ

】

【本事業を通じて実現したいこと】

『生きる力』として必要なことは「豊かな想像力・感性」だと考えます。想像力をもって深く洞察し、解釈して、発想する力を持つことが出来ます。本事業の趣旨そのもの、これから未来を担う子どもたちの想像力・感性を、高い芸術性をもって豊かに育てることが私達の役割です。想像力から発想力へ繋げることが、考える力・行動する力・生きる力になると確信します。究極、『優しく、つよく、賢い子』に育ってもらいたい。

想像力を喚起するために、説明的な表現を排し、ジャンルにとらわれず、あらゆる演劇的 表現を工夫しました。「みたてる力」を育てる〈アニメイム〉や、〈素劇すげき〉の手法等で、オリジナルの表現を創造してきました。それは日常の教育内容や遊びにも、おおいに展開を盛り込める、画期的表現手法です。

演劇という媒体こそ、子どもたちの「発想力」を大きく育てるものとして取り組んでいます。物語から一瞬で人生を感じ取ります。それだけではなく、舞台で、生きている人間から、可能性の大きさや、多様さを伝えられます。

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

俳優たち各人は『全体』に関わります。演技はもちろん、裏方の仕事、美術の 製作に携わります。そして音楽はすべて生演奏で、俳優自身が演奏します。俳優は、身をもって子どもに、「生きることの魅力」をつたえます。こどもが観る舞台に立つことは、その空間に全人格をさらし、渾身の力で向かつて立つということだと考えます。芸術鑑賞とは、その人間を、こどもたちが観ることでもあります。劇は、奥深いテーマ《真理を語りかける》アンデルセン を、選んでいます。そのテーマ《真理》を伝える為に、楽しく、面白く、音楽性も高く、と、磨き抜きました。あとむの目的とびたりと重なる、本事業の目的によって、東京近郊だけでなく、全国の学校、子ども達に広く観てもらえることは、この上なく有りがたく、素晴らしい機会と感謝しつつ、申請いたします。

本事業への応募理由等

【学校との連絡調整について】

◎特別リーフレットを作成しました。

【当日のあとむの舞台・客席の設置】・【入場・着席風景】

【開演中・上演中の様子】・【終演後の交流等の様子】、等々を、実際の公演時の写真や図を掲載したリーフレットを作成し、先生方にお届けします。

体育館におけるあとむのユニークな舞台設営・客席設営を、一目でイメージして戴けます。

◎席割表は、クラスの人数を伺い、当方で作成してお送りし、確認して戴きます。先生方には、本番の日の開演時間と、搬入・仕込の時間等を決めて頂くのみ、当日は、設営準備などお手を煩わせることは一切ありません。

**事業を適切かつ
円滑に実施するための
工夫**

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

ご要望にはできる限り柔軟に対応致します。暗い場所が苦手な低学年公演では、暗幕を減らしたり、暑い時期や感染症の流行期の公演では、途中に休憩や換気時間を入れる等、培ったノウハウにより対応致します。
支援学校での実施の際は、先生方のご意見、ご意向を念入りにヒアリングします。
ご要望に合わせて、参加コーナーで指さし用の看板を使用したり、車椅子やベッドで観劇での目の高さに合わせて演技者の姿勢や高さを変更します。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

単純な造形「棒・輪・丸」を組み合わせたり、役者の肉体で表現する事により「難しい道具は無くても、身体と発想さえあれば何でも表現できる」事を伝えています。

表現技法「アニメイム」、コーラスは、1人では出来ません。
複数人で協力することでしか創り出せない生の舞台を観劇する事で、人と人との繋がり、集団創造の意義を学びます。

アンデルセン童話を原作としており、原典に忠実に舞台化しました。
220年も前から変わらない人々の醜い心や美しい心を伝えます。
子どもたちからの感想に「昔のお話だと思ったのに、今もあるあるだと思った」とあり、色褪せない人たちの生きる姿と、古典童話に触れることで文学への興味を誘います。

実際に、観劇後は「図書室にアンデルセン童話を借りに来る子が増えました」と先生方が感想を寄せて下さいました。